



このコーナーでは、水資源機構の環境保全の取り組みを紹介します。

## ホタルが乱舞する人工水路

# 比奈知ダム下流親水公園

### 比奈知ダムの役割

比奈知ダムは、淀川水系木津川支川の名張川に建設され平成11年4月から管理を開始した多目的ダムです。

昭和28年の13号台風、昭和34年の伊勢湾台風などにより、人命や財産を奪われる甚大な被害が発生し、高山ダム、青蓮寺ダム、室生ダムが建設され、その後も大出水が相次ぎ、被害が発生したため総合的な対策が必要となりました。

比奈知ダムは、布目ダムや川上ダム（建設中）とともに淀川水系の総合的な治水計画に基づいて建設され、既設ダム群とともに名張川流域、ひいては淀川流域の治水や利水を担っています。

### 自然に近いせせらぎ水路を目指して

比奈知ダムの下流親水公園内には、人工的に造った「せせらぎ水路」があり、そこにゲンジボタルが生息し、例年、6月の上旬から下旬までホタルを観賞することができます。

下流親水公園は、当時の建設省近畿地方建設局や三重県、京都府、奈良県において「淀川水系河川空間管理計画」を策定していたこともあ

り、「湖水にふれあうレクリエーション広場」として整備を行いました。

この公園にゲンジボタルが定着し始めたのは、今から約10年前、比奈知ダム管理所での環境保全の取り組みの一環として、職員が中心となりせせらぎ水路をより自然に近い状態に改良し、ホタルの餌となるカワニナを放流してからです。ホタルが自然に繁殖し始め、毎年6月にはホタルが乱舞する様子が見られるようになりました。



せせらぎ水路

それから毎年、ホタル観賞会等を開催して訪問者の案内や説明会を行い、今ではせせらぎ水路でのホタルの飛翔が広く知れ渡り、近隣の住民を始め遠方からも多くの方々が訪れるようになりました。平成26年度からはホタル観賞会に代えて比奈知ダムのホームページでホタルの情報を提供するようになりました。

比奈知ダム管理所では、これからもホタルが生息できるような環境を維持できるよう環境保全に力を入れていきます。

比奈知ダム

検索



比奈知ダムと下流親水公園



乱舞するホタル